

新幹線プレス

2014年8月29日 No.178

発行者 成田隆浩

編集者 教宣部

JR東海労新幹線地本

■職場要求の前進を！

乗務距離に応じた 乗務手当を支給せよ

乗務員が列車に乗務した場合、運転士は1 kmにつき3円、車掌は1 kmにつき2円を支給すること

新幹線のスピードは220キロから270キロへとアップし、さらに285キロへとアップしようとしています。列車のスピードがアップすれば一列車の乗務時間は縮むので、縮んだ時間だけ乗務する列車が増えることとなります。乗務距離は拡大し当然にも仕事はきつくなります。しかし現在の乗務手当はどんなに乗務距離がふえてもそれと関係なく一行路に対して一定額（乗務手当A～D 3200～2700円※構内運転除く）しか支給されません。仕事がきつくなっても手当が変わらない。こんな馬鹿なことはありません。

かつては乗務手当も乗務距離に比例して支給されていましたが、会社は私たちの反対の声を無視して廃止してしまったのです。

JR東日本とJR西日本はいまでも乗務距離に比例して手当が支給されています。JR東海労本部は、協約協定改訂交渉で、乗務距離に比例した乗務手当の支給を要求しています。他労組の仲間のみなさんも一緒に声をあげましょう。